令和5年度 五條市コミュニティ・スクール推進協議会(拡大研修会) 実施報告

開催日時	令和5年 10月19日(木) 14:00~16:00
開催場所	五條市役所 IFコミュニティルーム
参加者	五條市立小中高等学校 学校運営協議会委員 17名
内容	
	4: 0~ 5: 0 講演「地域と学校の連携協働」
	奈良県 CS アドバイザー 竹原 康彦 氏
	15: 5~ 5:50 意見交流・情報交換・熟議体験

◎講演について

「地域と学校の連携協働」と題して、小中一貫校における学校運営協議会の運営や効果 的な熟議の進め方について、竹原先生のこれまでの具体的な実践を基に御示唆いただい た。

- ・コミュニティ・スクールを推進するにあたり「つながり」を大切にしている。委員同士 の「つながり」、学校、保護者、地域の「つながり」が効果的なコミュニティ・スクール の推進につながる。
- ・コミュニティ・スクール導入にあたり、準備委員会を立ち上げ、委員に地域教育協議会会長をはじめ、校区にある奈良教育大学の教授や自治連合会長など様々の立場の方に委員となっていただくことで幅広くご教授をいただくことができた。
- ・飛鳥中学校区学校運営協議会では部会制(学校運営部、学校評価部、地域連携部、健全育成部)を取り入れた。学校運営協議会の性質をもった「学校運営部」と「評価部」、地域学校協働本部の性質をもった「地域連携部」と「健全育成部」の4部会を置き、年4回行われる学校運営協議会は全体会→部会→全体会の流れで実施している。
- ・飛鳥中学校区学校運営協議会では委員が中学三年生を対象に面接を行っている。「地域 を大切に思っていますか」等の質問を中学生にして、中学生と直接対話をすることで、 子どもたちの成長やコミュニティ・スクールの取組の成果を感じることができる。
- ・コミュニティ・スクールの推進による子どもたちの力や地域の高まりなどの変化を、評価・検証するためにアンケートを実施している。自分力(規範意識に関わる力)のながり力(人間関係づくりに関わる力)ゆめ力(将来を切り開いていく力)学び力(意欲的に学ぶ力)の4つの力に関する質問事項のアンケートを実施してる。
- ・「いい学校」は「いい地域」にできるし、「いい学校」を作ろうとみなで一緒に「汗をかく」ことで「いい地域」が形成される。つまり、コミュニティ・スクールをつくり上げるということは、



学校、地域、保護者がそれぞれに役割を果たしながら協働して、「いい学校」 「いい地域」をつくり上げる学校と地域の双方を活性化するための営みである。

◎情報交換・意見交流(熟議体験)

「学校と地域の連携・協働」について考えようというテーマで熟議体験を行った。連携・協働における課題、目指すべき姿について、3 つのグループに分かれて熟議した。その後各グループで出された意見について、全体交流を行った。

【課題】

- ・学校統合(校区の拡大)により、地域活動ができない
- ・各地域での学習の取り組みをどのようにして広げていくか
- ・学校統合があり地域が一つになれない
- ・地域でのつながりが減少している
- ・校区が広くなったことによる文化の違いがあり、何を選んでいけばよいのか
- ・関わりの多い教職員と少ない教職員が いる
- ・子どもへの声かけの仕方がやりづらい
- ・自治会を脱退する人が増え、地域行事 が減少し、参加者も減少している

【目指すべき姿】

- ・子どもから進んで地域の方へ挨拶しす る顔見知りの関係
- ・五條市としてのコミュニティ・スクールの方向性を示し、学校と地域が共有している
- ・学校がどのような支援が必要か発信している
- ・統合した学校の子どもたちが一つになれるように、PTA でお祭りなどをして交流の場をつくる
- ・子どもたち、大人たちの助け合いができる場所をみせてあげたい
- ・小中での交流を通して、地域性を育んでいる
- ・地域での交流の場として、お年寄りとの交流会などをする